

「令和3年度全国学力・学習状況調査」新城市の状況について

新城市教育委員会

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握し、その結果を今後の教育活動に役立てていくことを目的としています。令和3年度の結果からわかる児童生徒の状況を報告します。

1 調査概要

- (1) 調査実施日 令和3年5月27日（木）
- (2) 調査対象 市内小学6年生、中学3年生
- (3) 調査事項 教科に関する調査（国語、算数・数学）
質問紙調査（学習・生活）

2 各教科の調査の結果（全国の平均正答率との比較）

(1) 小学校

	調査の内容・領域
国語	<p>全国の平均正答率と比較し、やや優れている部分</p> <ul style="list-style-type: none">・文の中における修飾と被修飾との関係を捉える力。・目的や意図に応じて、資料を使って話す力。 <p>全国の平均正答率と比較し、やや弱い部分</p> <ul style="list-style-type: none">・目的に応じて、話の内容が明確になるようにスピーチの構成を考える力。・スピーチにおいて、資料を用いることの目的を理解する力。・自分の主張が明確に伝わるように、文章全体の構成や展開を考えて書く力。・文章の主語と述語との関係を捉える力。・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う力。
算数	<p>全国の平均正答率と比較し、やや優れている部分</p> <ul style="list-style-type: none">・示された除法の結果について、日常生活の場面に即して判断する力。・速さと道のりを基に、時間を求める式に表す力。・棒グラフから、数量を読み取る力。 <p>全国の平均正答率と比較し、やや弱い部分</p> <ul style="list-style-type: none">・速さを求める除法の式と商の意味を理解する力。・速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について考察する力。・複数の図形を組み合わせた図形の面積について、量の保存性や量の加法性を基に捉え、比べる力。・データを二次元の表に分類整理する力。・小数を用いた倍についての説明を理解し、ほかの数値の場合に適用して、基準値を1としたときに比較量が示された小数に当たる理由を記述する力。

(2) 中学校

問題調査の内容・領域	
国語	<p>全国の平均正答率と比較し、やや優れている部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの話題や方向を捉えて、話す内容を考える力。 ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く力。 ・文脈に即して漢字を正しく読む力。 <p>全国の平均正答率と比較し、やや弱い部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書いた文章を互いに読み合い、文章の構成の工夫を考える力。 ・文脈の中における語句の意味を理解する力。 ・文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えをもつ力。 ・登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する力。
数学	<p>全国の平均正答率と比較し、やや優れている部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・与えられたデータから中央値を求める力。 ・与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る力。 ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する力。 ・ヒストグラムからある階級の度数を読み取る力。 <p>全国の平均正答率と比較し、やや弱い部分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・扇形の中心角と弧の長さや面積との関係について理解する力。 ・関数の意味を理解する力。 ・目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する力。 ・数学的な結果を事象に即して解釈し、事柄の特徴を数学的に説明する力。 ・平行四辺形になるための条件を用いて、四角形が平行四辺形になることの理由を説明する力。

3 生活状況に関する質問紙調査の結果

児童生徒への質問	児童生徒の回答の状況
今住んでいる地域の行事に参加していますか	児童生徒ともに「参加する」と回答した割合が全国と比べ上回っている。
毎日同じ時間に寝ていますか。 毎日同じ時間に起きていますか	「している」と回答した児童は、全国と比べやや上回り、生徒は全国と比べやや下回る。
携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	「きちんと守っている」「だいたい守っている」と回答した児童生徒は、全国と比べやや上回る。

4 学習状況に関する質問紙調査の結果

児童生徒への質問	児童生徒の回答の状況
昨年度までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか	「ほぼ毎日使用していた」「週1回以上使用していた」と回答した児童生徒は、全国と比べ下回る。
学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達と意見を交換したり、調べたりするためにどの程度使用していますか	「ほぼ毎日使用している」と回答した児童は全国と比べ上回り、生徒は大幅に上回る。 「週1回以上使用している」と回答した児童は全国と比べ大幅に上回り、生徒は上回る。
算数・数学の授業で公式や決まりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか。	「そうしている」「どちらかといえばそうしている」と回答した児童生徒は、全国と比べ、やや上回る。
英語の勉強は好きですか	「当てはまる」と回答した児童は、全国と比べ上回る。

5 調査結果の分析と、今後の指導改善等の取り組み

本年度の学力学習状況調査の結果からも、地域の行事に積極的に参加している児童生徒の姿を再確認することができた。

一昨年度の調査に引き続き、多くの児童生徒が毎日あるいはほぼ毎日、朝食を食べて登校していることや、決まった時間に起床・就寝していることが確認できた。規則正しい生活を送っている様子が見えるが、本年度調査では、中学生の一部の質問において全国と比べて下回る値が見られるなど、不規則になりつつある兆候も確認された。引き続き家庭との連携を図り、「共育」の合言葉にもなっている「早寝・早起き・朝ご飯」の定着を目指す。

学習状況の調査より、本年度より導入されたGIGAスクール端末が授業の中でしっかり活用されている様子が見える。今後は、学びの「焦点化」「効率化」のためのツールとして、より有効に活用するための方策を研究し、実践していく。

小学校の外国語学習に関するすべての質問について、肯定的な回答が全国の値を上回っている。これは本市がすべての小学校において専科教員による外国語授業を実施していることによる効果であると考えられる。

小学校、中学校ともに自己肯定や自己実現に関する質問で、前向きな回答をしている児童生徒の割合が全国と比較して下回っていることが気付きである。「できた」を実感できる授業や新学習指導要領から「特別の教科」として再スタートした道徳、系統的なキャリア学習等を充実させることにより、改善を図っていく。